

事業シート(1)

1 事業番号	- 1	事業名	減量化・資源化推進事業
--------	-----	-----	-------------

位置づけ	2 所管	環境	局	環境事業	部	廃棄物政策	課
	3 審査会での対象分野	世界に誇れる環境共生都市を実現します。			4 根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
	5 関連する事業	所属名	事業名				

事業概要	6 事業年度	開始 平成 18 年度 ~ 終了 平成 27 年度 (終期を定めていない場合は開始年度のみ)					
	7 事業の背景 (実施の経緯)	これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済システムの中で、資源やエネルギーの大量消費により、地球規模の深刻な環境問題に直面している。このため、廃棄物処理を環境問題としてとらえるようになり、「循環型社会形成推進基本法」や各種リサイクル法が整備され、社会経済のあり方そのものを「資源を循環して使う」循環型のシステムに転換する取組が求められている。					
	8 事業の目的 (何のために)	本市一般廃棄物処理基本計画の基本理念に基づき、市民・事業者・行政によって限りある資源の節減と循環的な利用を推進するとともに適正な処理を促進し、環境負荷が少ない循環型社会の構築をめざす。 なお、焼却対象物の削減による埋立処分地の延命化と持続可能な低炭素社会の実現にも寄与する。					
	9 対象者 (誰・何を対象に)	市民・事業者	10 対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全市事業(全市的に実施) <input type="checkbox"/> ()区で実施			
	11 事業の実施方法 複数選択可能 直接実施以外の場合の支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 貸付	<input type="checkbox"/> その他()		
12 事業内容 (手段・手法など)	<p>分別収集の実施・拡大等 平成20年度の本市のリサイクル率は12.9%であり、全国平均20.3%、政令指定都市平均17.9%と比較すると、低い水準である。 そのため、これまでの缶・びんに加え、平成21年10月より、プラスチック製容器包装、ペットボトル、小型金属の新たな分別収集を実施し、減量化・資源化の推進を図っている。 これにより、これまでの生活ごみ、粗大ごみ、缶・びんの4品目3分別から7品目6分別体制に移行。 啓発及び情報の発信 家庭で生ごみを簡単に堆肥化できる「生きごみさん」の講習会や出前講座を通じて、減量意識の向上を図る。 資源化の現状等について、積極的な情報発信を行い、分別意欲の維持向上に努める。 事業系ごみの減量化・資源化 多量排出者から提出された減量計画書に基づき、その実施状況等について、事業所を訪問し減量指導を行っている。</p>						

コスト		事業費 (千円)	主な内訳 (千円)	人件費 (千円)	総事業費 (千円)	
	13	20年度(決算)	324,023	資源ごみ収集運搬委託 222,386 ストックヤード建設実施設計委託 9,800	109,578	433,601
	21年度(決算見込)	1,186,037	東工場貯留施設建設等 214,988 ペット・プラ圧縮・梱包委託関係 147,409 資源分収集委託 876,633	138,210	1,324,247	
	22年度(予算)	2,091,925	資源分収集運搬委託 1,558,898 ペット・プラ圧縮梱包委託関係 397,915	89,750	2,181,675	
14	22年度予算	人件費内訳		事業費内訳(千円)		
		従事職員数(人)	人件費(千円)	国・府支出金	市債	一般財源
	正規職員	8.5	72,250			2,091,925
	非正規職員	5.0	17,500			

15 自由記述欄 (1~15を補足する特記事項等)	事業費については、缶・びん、プラスチック製容器包装、ペットボトル、金属小物の収集・資源化に関するものについて、歳出から歳入を減じたものを計上。 なお、起債の償還分については、起債償還年数に応じて平準化を行っている。
---------------------------	--

事業シート(2)

事業番号	- 1	事業名	減量化・資源化推進事業
------	-----	-----	-------------

16	活動指標 (実績)	指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
		分別品目資源化量 (缶・びん、ペットボトルプラスチック製容器包装小型金属)	t	目標	16,043	16,043	16,043	堺市一般廃棄物処理基本計画における中間目標年度(H22年度)
				実績	6,827	10,023		
				達成率	43%	62%		
		指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
			t	目標				
実績								
達成率								

17	効率指標	(単位あたりコスト(総事業費/活動指標))	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		総事業費/分別拡大品目資源化量	千円	64	133		
			千円				

18	成果指標	指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
		資源化量 (基準年度:平成16年度実績52,900t)	t	目標	97,100	97,100	97,100	堺市一般廃棄物処理基本計画(27年度目標値)97,100t
				実績	46,774	47,186		
				達成率	48%	49%		
		指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
		焼却量 (基準年度:平成16年度実績348,600t)	t	目標	89,900	89,900	89,900	堺市一般廃棄物処理基本計画(27年度目標値)258,700t
実績	33,416			52,061				
達成率	37%			58%				
【その他】 数値以外の成果があればご記入ください。								

19	達成度評価	活動評価	A (80%以上) B (50% ~ 80%) C (50%以下)	総合評価	A・B・C	コメント	
		効率性	A (向上) B (現状維持) C (低下)				
		成果評価(効果性)	A (80%以上) B (50% ~ 80%) C (50%以下)				

20	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】 本事業の方向性を検討するための他市の状況を記入ください。					
		札幌市	資料有	横浜市	名古屋市	資料有	
		仙台市		大阪市	京都市		
		さいたま市		神戸市	岡山市		
		千葉市		広島市	北九州市		
		横浜市		福岡市			
川崎市							
相模原市							
新潟市							
静岡市							
【国等の基準との比較】							
【必要に応じて近隣市の状況をご記入ください】							

事業シート(3)

事業番号	-1	事業名	減量化・資源化推進事業
------	----	-----	-------------

21	事業の必要性 A	A	有	(理由)
		B	無	限られた資源で持続可能な社会経済活動を行っていくためには、循環型の社会システムへと転換し、環境負荷の少ないまちづくりをめざすことが重要である。このため、ごみの発生・排出を抑制するとともに、排出されたものについては、資源やエネルギーとして循環的に利用される仕組みづくりが必要である。

22	実施主体の妥当性 A 事業主体の妥当性 C	A	市が実施	(理由:「市が実施」とした場合は、同種事業における民間等の状況も明記)	
		B	民営化	一般廃棄物の処理は、市町村の責務であることから、その減量化・資源化については、市町村が中心となって主体的に取り組みを進める必要がある。	
		C	その他()		
		実施主体がAの場合	a	市で直接実施	(理由)
			b	全部民間委託	施策の制度設計等企画立案に関しては、市民ニーズを踏まえながら市で直接実施すべきであるが、調査分析業務及び制度構築後の業務については、可能な限り業務委託を行う。 なお、ごみの減量化・資源化を推進するには、市民・事業者・行政がそれぞれの責任と役割を果たすことが求められる。
			c	一部民間委託	
			d	市民協働	
			e	その他()	

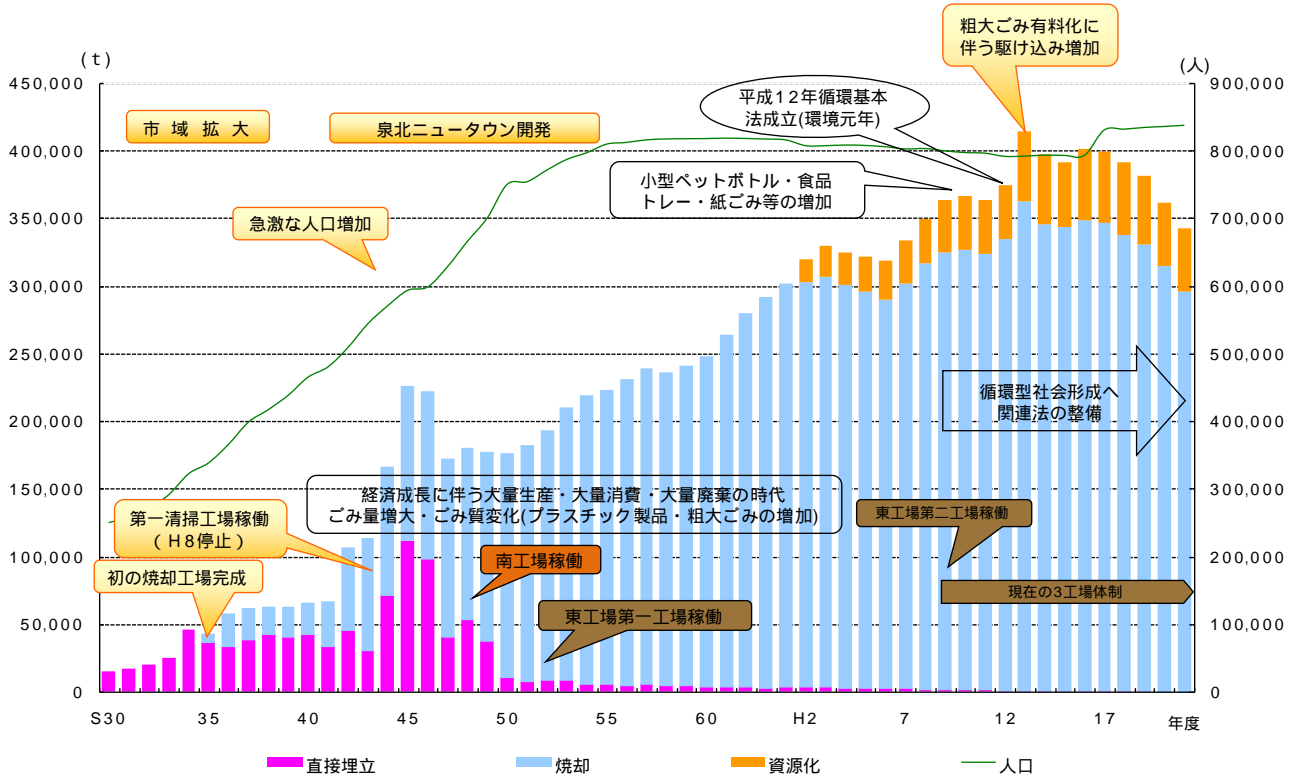
事業の評価 (実施事業の方法、内容等について、事業の目的合致性、効果性、効率性、社会変化への適応性等から現状の課題及び評価を記入下さい)				
安定的に減量化・資源化する仕組みの構築 景気回復後も引き続きごみが減少する仕組みを構築し、安定した減量化・資源化を進める。 清掃工場の規模縮小等 老朽化が進んでおり、燃えるごみが減少すれば、清掃工場の規模縮小等が可能となり、財政負担が軽減される。 啓発及び情報発信の強化 「市民に分かりやすい」ことを基本に、減量に直結する啓発を展開するとともに、情報発信の強化を行う。 生ごみの減量化・資源化 食品廃棄物については、一人ひとりの取組で減量につながるため、計画的な購入・使用や水切りなど減量意識の高揚を図るとともに、有効利用について研究を進める。 紙ごみ分別収集の実施 生活ごみの約3割を占める紙ごみについて、「市民の取り組みやすさ」、「費用対効果」等の視点から、集団回収との整合を図りながら、回収体制を構築する。 焼却灰の資源化 現在更新している清掃工場において、これまで埋め立てていた焼却灰について、路盤材等への資源化を行う。 生活ごみ有料化の検討 生活ごみについて、ごみ減量化の達成状況を見極めながら、社会経済情勢も勘案し、有料化の検討を進める。				
23	事業の方向性 A	A	拡充	(理由:「改善」とした場合は改善内容も記入下さい)
		B	現状どおり	本市一般廃棄物処理基本計画の計画目標を達成し、焼却対象物を削減することで、環境負荷の低減による持続可能な低炭素社会に寄与するとともに、清掃工場の規模縮小等による財政負担の軽減を図るため、引き続き減量化・資源化事業を推進する必要がある。
C	改善			
D	縮小			
E	廃止・終了			
F	その他()			

24	縮小または廃止した場合の影響	(影響の内容)		
		<input type="checkbox"/> 市民の生命や財産に影響する <input checked="" type="checkbox"/> 市民の日常生活(衣食住)に影響する <input type="checkbox"/> 市民の生命や財産、日常生活には影響しないが、他に影響する <input type="checkbox"/> 市民には直接影響しない <input type="checkbox"/> その他()		
		(影響の出方)		
		<input type="checkbox"/> 影響がすぐさま出る <input checked="" type="checkbox"/> 影響が出る <input type="checkbox"/> 影響がすぐには出ない <input type="checkbox"/> その他()		

(特記事項等)

25	[市民意識調査の主な結果]市内在住の満20歳以上の2,000人を対象に実施し、1,201人が回答。 ・ごみの分別はいいことである…「そう思う」81.2% ・分別は資源の有効利用につながる…「そう思う」72.4% ・分別すると生活ごみが減る…「そう思う」58.9% ・分別する種類が増えるごみ問題に関心が高まる…「そう思う」56.9% ・分別の種類…「満足」41.3%、「どちらとも言えない」39.6%、「不満」10.7% ・ごみの収集回数…「満足」66.2%、「どちらとも言えない」18.5%、「不満」11.4% ・広報紙等による啓発・情報提供…「満足」29.7% ・分別して出すことは簡単…「そう思う」37.8%、「思わない」34.3% ・分け方、出し方を周知徹底し、マナー向上を図る…「重要」80.6% ・減量化・資源化の取組を促進し、清掃工場で燃やすごみを減らす…「重要」73.4%
----	--

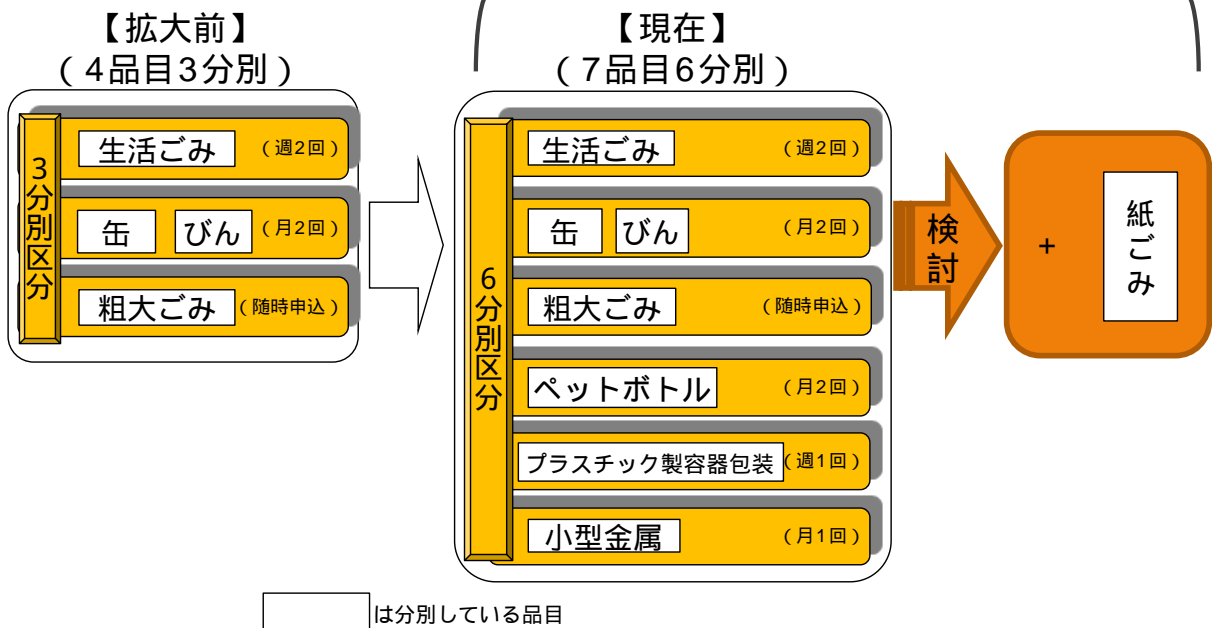
人口・ごみ総排出量（資源ごみ含む）の推移



8品目7分別体制

分別体制構築にあたっての視点：
資源化ルートが確保され、又、排出時点で
単一素材であり製品の選別コストが不要

【さらなる拡大】
（8品目7分別）



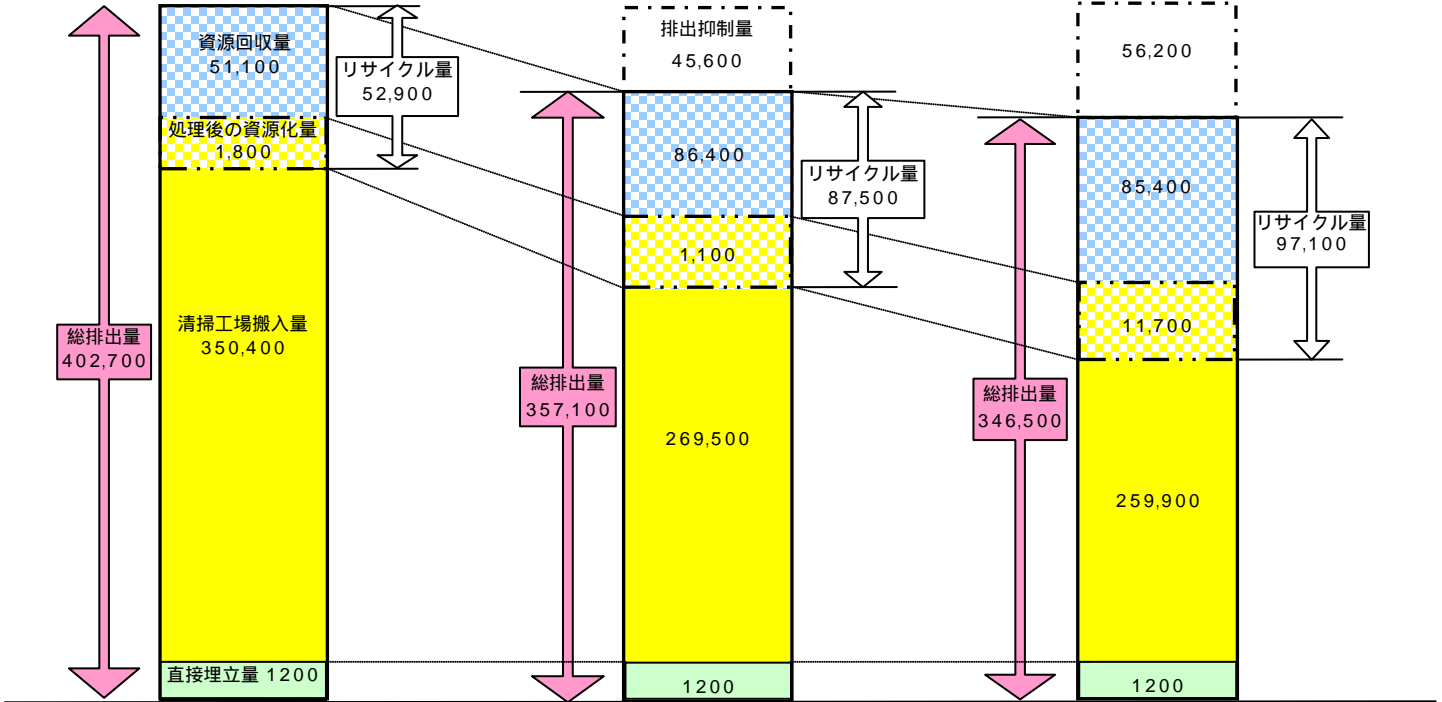
堺市一般廃棄物処理基本計画目標

単位：t

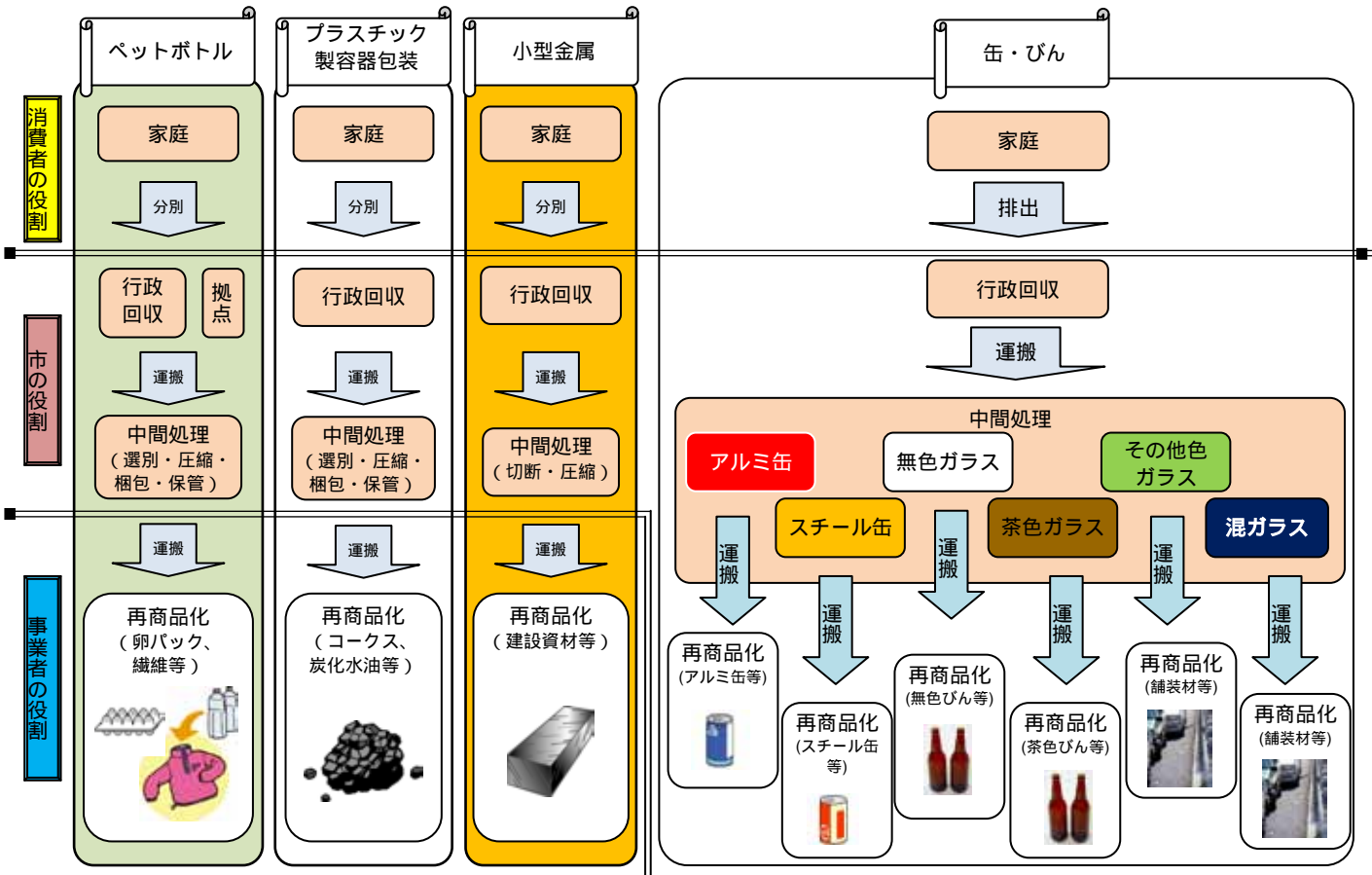
平成 16 年度（基準年度）：実績

平成 22 年度：中間目標年度

平成 27 年度：基本計画目標



資源化の流れ



政令指定都市(19市)ごみ分別対象品目一覧

(注意：収集品目についてまとめた表である。実際の収集品目とは異なる場合がある。収集形態も異なる 収集時は、混合収集で選別施設で分別する
 (凡例) で囲まれている欄は有料化導入済み 形態等(例：本市では、缶とびんは同一日に混合収集し、リサイクルプラザで白、茶、その他色混みガラスの3種に選別される。)
 各欄記号横に記載のあるものは収集形態。「」は実施済み 「x」は資源回収等未実施 「」はモデル実施など一部のみで実施 「 拠点」は拠点回収のみで実施 「x不燃」は、不燃物として収集するも資源化は未実施

区分/都市	札幌市	仙台市	さいたま市 (一部区除く)	千葉市	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市 (一部区除く)	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市			
ごみ	可燃																					
	不燃		x			x	x					x	x	x					x			
	粗大																					
	ほか	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---		
資源物	プラ製容器包装			x	x			(一部区除く)	x							(一部区のみ)	x			x		
	びん類																					
	缶類																			不燃		
	ペットボトル								(一部区除く)													
	小型金属類	不燃	びん	不燃	不燃		缶	不燃		不燃	不燃		缶・びん・ペットボトル		不燃	不燃		不燃	不燃	不燃		
	(有害ごみ)	乾電池								x不燃		x不燃	拠点	拠点	x	x不燃				拠点	x不燃	
		蛍光灯 <small>カレ缶類(灯管式)</small>	x不燃	缶			缶・ペットボトル	缶		缶	缶	x	小型金属	x	小型金属	x不燃	缶		x	可燃	x不燃	
		ライター	x不燃	x			x	x		x不燃	x	x	x	x	x	x	x	x	x不燃	x	可燃	x
		水銀体温計	x				x	x		x不燃		x	x	拠点	x	x	x			x	x	
		新聞	x				x				拠点	x	x	x	(美原区のみ)	x				x	拠点	
	古紙類	雑誌	x				x				拠点	x	x	x	(美原区のみ)	x				x	拠点	
		段ボール	x				x				拠点	x	x	x	(美原区のみ)	x				x	拠点	
		雑がみ					(モデル実施)				拠点	x	x	x	(美原区のみ)	x				x	拠点	
		紙バック	x	x			x				x	拠点	拠点	x	(美原区のみ)	x				x	拠点	
	紙製容器包装	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	古布	x	x			x			拠点	(一部区除く)	x	x	x	x	x	x				x	x	
	使用済み食用油	x	x	x	x	x	x	x	拠点	x	拠点	x	拠点	x	x	x				x	x	
	枝・葉・草		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	の合計	12	15	19	18	8	17	19	21	14	16	11	12	10	8	8	18	17	10	13		
	拠点回収	古紙類 蛍光灯 廃食用油 生ごみ堆肥	紙類		古紙類 エコキャップ		紙類、缶、びん、 布類、小さな金 属、使用済み乾 電池、カレ缶、 プラスチック製容器 包装、燃えない ごみ、剪定枝、 ペットボトル	ペットボ トル・白 色トレ イ	古紙類 古着・古布 ペットボ トル 廃天ぷら油 乾電池	ペットボ トル (白色トレ イ)	古紙類 布類 アルミ缶 クワ・アルビ ン 使用済み ぶら油	紙バック ペットボ トル	紙バック 乾電池 使用済み 天ぷら油 蛍光灯 クワ・びん	紙バック (子ども服 等) 乾電池・蛍 光灯・水銀 体温計	ペットボ トル		空き缶、び ん、ペット ボトル、古 紙・古布 廃乾電池・廃 体温計・天ぷ ら油、(発泡 トレイ)、蛍 光灯		行政回収ル ート：紙バ ック・食 品用トレイ ・蛍光灯・ 小物金 属 民間回収ル ート：小型 電子機 器(実験 中)、使用 済み食 油・イン クカート リッジ ・電池・ 再利用 びん	古紙類 空き 缶 ペットボ トル 紙 バック 生ご み 堆肥 化物 (トレイ) 蛍光灯		
集団回収																	x					

【各市ホームページ等から作成】

【参考】

区分/都市	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市
人口	1,898,473	1,009,709	1,193,942	923,273	1,358,292	3,673,036	693,965	804,387	720,305	792,191	2,181,679	1,467,313	2,521,214	834,808	1,507,578	696,905	1,152,304	983,450	1,382,563
ごみ総排出量 ⁽¹⁾	805,725	427,796	452,660	396,795	505,936	1,285,954	256,928	335,251	303,832	310,362	871,956	601,221	1,424,943	362,151	689,824	274,045	375,964	416,961	622,487
1人1日あたり排出量	1,163	1,161	1,039	1,177	1,020	959	1,014	1,142	1,156	1,073	1,095	1,123	1,548	1,189	1,254	1,077	894	1,162	1,234
リサイクル率 ⁽²⁾	15.5	18.2	22.0	29.0	14.6	27.9	19.6	25.7	15.3	18.4	24.5	8.3	5.5	12.9	12.1	14.7	16.0	29.9	9.6
一人あたり経費	11,071	10,728	12,893	12,750	14,079	11,812	22,513	14,620	24,085	8,577	16,589	18,104	17,377	11,166	17,152	13,848	13,913	11,386	16,885

(1) 資源ごみを含む。

(2) ~ はリサイクル率の順位を表している。

【環境省ホームページ・一般廃棄物処理統計(H20年度)から作成】